

令和2年度学校評価まとめ（2021年3月）

<教職員の自己評価について>

- ・先生方が課題意識をもって取り組まれていることが成果としてあらわれている。交流関係は、今年はどうしても評価が低くなってしまうのかと思ったが、次年度に向け出来ないことではなく、工夫したことや新たに組み組んだこと等の視点から評価すればよい。
- ・先生方は制限の多い中でも十分に対応してくださっていた。それでも以前と比べてポイントが下がっている項目が多いのは「もっと色々やれることがあったはず」というもどかしい気持ちの表れかと感じた。
- ・概ね良好であると思うが環境福祉教育のポイント減少が気になる。おそらく施設訪問等がコロナ禍でできなかったことが影響していると思うが、新たな方法等を検討する必要がある。

<新型コロナウイルス関係について>

- ・今年度はとにかくコロナに振り回された一年でした。先生方にとっても初めての対応ばかりで何かと大変だったことと思いますが、いつも迅速な判断で生徒達のためにご尽力いただき感謝している。
- ・コロナ禍での1年は本当に大変だったと思うが、充実した学習プログラムの歩みを止めることなく、進めておられる姿勢は、見習いたい。
- ・今年度は、コロナ禍で、例年行っている交流ができなかったが、短時間でも、内容を工夫してできたことは、本当によかった。
- ・コロナ感染症対策は、それなりに、取り組んでおられるようであるが、今後、第4波のような感染再拡大状況が訪れ、対面授業の実施が困難となった場合には、オンライン授業を実施するなどの、対応が必要となるのではないか。
- ・昨年度から準備を進めてこられたICT事業は、あと少しというところで長期休校には間に合いませんでしたが、これを機に活用の幅が広がっていくことを期待したい。

<教職類型、ひょうごスーパーハイスクール事業等について>

- ・教職類型の取組はそれなりに成果をあげており、ひょうごスーパーハイスクール(HSH)の指定を受け、教育・心理類型として展開させていく方向性は結構なことであり、大いに期待される。
- ・教職類型の目標に関して、「主体性」「人間性」「コミュニケーション能力」についてどのような効果、意義や意味が見いだされたかの振り返りや共有内容を確認できれば、次の方向性に有用ではないか。
- ・入学後の生徒の学習状況、学力について知りたい。

<制服の刷新について>

- ・高校の選択について以前は、学校説明会の印象かと感じていたが、制服や学校設備についても材料の一つになっている。
- ・どのような制服に変わるのか、今からとても楽しみ。インターネットの高校クチコミ掲示板では「夢野台高校の制服が変わるらしい」と情報がうっすら漏れ始めているようで、中学生は「いつから変更か」と興味津々の様子である。新しい制服が発表されれば注目が集まり、夢野台高校をアピールする絶好のチャンスになるのではないかな。
- ・在校生の意見を取り入れて、春から女子生徒のリボン着用が可能になると聞いた。体育祭のブルーレイの件もそうだが、先生方が生徒達の声にきちんと耳を傾け、実現に向けて行動に移してくださる姿は生徒や保護者にとって非常に心強い。

<広報活動について>

- ・今年度の教職類型の応募倍率が 1.9 倍と高率となったのは、HSH の指定を受けて、教職類型を広く展開させようとしていることが背景にあるのではないかな。
- ・今年の入試の志願倍率は 1 倍をわずかに上回って、ここ数年続いた、低倍率傾向から、脱したように思われるが、募集定員が1クラス分減になっていることが関係しているようにも思われる。倍率向上のためにも、HSH の指定や、教育・心理類型のことを広く、アピールすることが重要である。
- ・HSH の指定を受けていることや、教育・心理類型に関して、高校の HP 等でもっとアピールすることが必要ではないかな。